

第3回 市場の役割と政府の役割 (政府の役割とは何か)

本講義目的

市場の役割とは何か学ぶ。

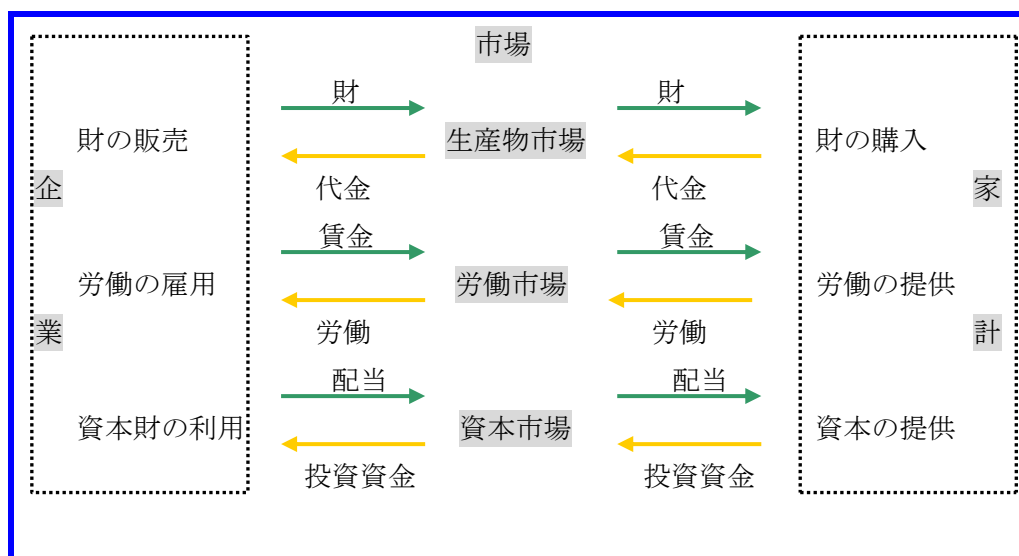
政府の役割とは何か議論する。

1. 市場とは

1) Market の役割とは

生産者（販売者）と消費者（購入者）が財の交換を行う場である。

2. 3つの主要な市場



1) 企業と家計の目的

(1) 生産活動 (企業の目的)

労働 (Labor) と投資資金 (Capital) を投入して、財 (Goods) を生産する。

投入財 (Input) を投入して、生産物 (Output) を得る。

その対価として、賃金と配当を返済する。

(2) 消費活動 (家計の目的)

労働 (Labor) と資本 (Capital) を提供して、賃金と配当を得る。

得られた賃金と配当で、消費活動を行う。

2) 3つの主要な市場

(1) 生産物市場

企業 財の販売を行い、その対価を得る場所

家計 財の購入を行い、その対価を支払う場所

(2) 労働市場

企業 労働の購入を行い、その対価を支払う場所

家計 労働の提供を行い、その対価を得る場所

(3) 資本市場

企業 資金を調達し、その対価を支払う場所

家計 資金を提供し、その対価を得る場所

余談 (製造業の役割)

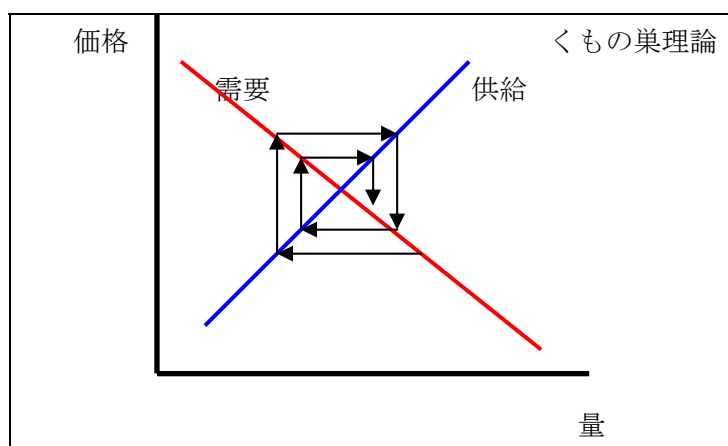
(商社の役割、流通業の役割)

(銀行の役割、ストックマーケットの役割)

余談 (貨幣の有用性 交換の媒介、価値の分割、価値の貯蔵)

3) 価格のメカニズム (見えざる手 市場の利便性)

需要と供給の調整。



市場は、何をどれだけ、如何にして、誰のために、生産するかを解決してくれる。

アダムスミスの「国富論」 利己心

3. 混合経済での役割分担

市場を通じた活動は、民間部門で行われる。それでは、市場を分析すれば経済活動の全てを把握できるか？

1) 経済の種類

- 資本主義 物的資産の私有性
- 社会主義 物的資産の公有性
- 市場経済 意志決定方式の分権性
- 計画経済 意志決定方式の集権性

かつてのソビエトや中国 社会主義計画経済は既に崩壊。
完全な資本主義市場経済も存在しない。

2) 混合経済とは何か。

政府が市場を補完する形で経済活動を行う経済システムを示す。
全ての財を民間が産出することは出来ない。(インフラ)
民間活動に任せては、上手く行かない場合が存在する。(環境)

3) 政府部門の役割と民間部門の役割は

政府と民間部門の適切なバランスに関しては議論が分かれるところである。

①見解の不一致が見られる分野がある。

事例

- 景気対策
- 産業政策
- 公平性の問題 (基本的権利 所得分配、医療・教育へのアクセス、環境)

②国 (文化) による違いが見られる場合がある。

- 北欧諸国とアメリカ・香港
- 途上国と先進国

③時代の変遷 (経済発展) と共に適切なバランスが変化する場合がある。

事例 (一般的な傾向 政府 ⇒ 民間) (PFI イニシアティブ)

- 電話
- 鉄道
- 水道